

宮城県感染症発生動向調査情報(第45週)

宮城県【平成25年11月14日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.11.4 ~ 11.10 ・ 第45週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所								仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第42週	第43週	第44週	第45週		
水痘	2 0.40	7 0.70	2 0.40		2 0.67	11 2.20		15 0.58	39 0.67	2,815	○→	○→	○→	○		
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10			3 1.00		20 10.00	9 0.35	34 0.59	972	→	→	→	○		
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	12 2.40	16 1.60	6 1.20	17 8.50	12 4.00	4 0.80	3 1.50	73 2.81	143 2.47	13,216	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病	14 2.80	12 1.20	16 3.20	15 7.50	11 3.67	3 0.60	1 0.50	23 0.88	95 1.64	4,395	◎→	◎→	◎→	◎		
伝染性紅斑		3 0.30			6 2.00		1 0.50	18 0.69	28 0.48	598	レ→	→	→	○		
突発性発しん	2 0.40	6 0.60	5 1.00	3 1.50	2 0.67	1 0.20	3 1.50	15 0.58	37 0.64	1,669	○→	○→	○→	○		
ヘルパンギーナ		1 0.10						1 0.04	2 0.03	2,087	レ→	→	→			
インフルエンザ	5 0.63				1 0.20		1 0.25	1 0.02	8 0.09	15,696	→	→	→			
咽頭結膜熱		2 0.20						2 0.08	4 0.07	693	→	→	→			
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	143	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.40	14 1.40		7 3.50	1 0.33	12 2.40		34 1.31	70 1.21	4,226	○→	○→	◎→	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	13	→	→	→			
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		1 1.00				11 11.00	4 0.80	17 1.42	811	→	→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	10 2.00	7 0.70	2 0.40		2 0.67	4 0.80		20 0.77	45 0.78	926	○→	○→	○→	○		
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	3	11	2		4	6	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向							
	川崎病								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/							
	不明発疹症							3								

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第43週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.69)、佐賀県(0.31)、静岡県(0.30)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は8例と前週と比較して増加した。都道府県別では岩手県(2例)、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、徳島県、佐賀県から各1例、年齢別では10歳未満(3例)、10代(1例)、20代(1例)、50代(2例)、80歳以上(1例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,702例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。上位3位は宮崎県(1.47)、島根県(1.13)、長崎県(1.07)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は増加した。上位3位は北海道(2.32)、山口県(2.26)、鳥取県(2.11)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。上位3位は宮崎県(12.53)、長崎県(7.45)、大分県(7.14)である。**水痘**: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。上位3位は新潟県(1.16)、北海道(1.07)、岩手県(1.05)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は第38週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。上位3位は鹿児島県(3.87)、佐賀県(2.78)、福井県(2.77)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は減少した。上位2位は沖縄県(0.09)、千葉県(0.03)、神奈川県(0.03)、高知県(0.03)、大分県(0.03)、宮崎県(0.03)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。上位3位は富山県(0.45)、秋田県(0.43)、福井県(0.41)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。上位3位は青森県(1.83)、岩手県(1.63)、富山県(1.60)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 第42週から報告が開始された。今週、都道府県別では山口県から1例報告があった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
 - 石巻管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名(第21週)、女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名
 - 大崎管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 石巻管内 男性1名
 - クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 石巻管内 女性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙南管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]

仙南、大崎管、栗原管内で警報継続中。

[流行性耳下腺炎]

気仙沼管内で警報値を超えた。

[伝染性紅斑]

登米管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第42週採取分 サボウイルス遺伝子 2件
 第43週採取分 ヒトパレコウイルス(型不明)遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第43週採取分 第44週採取分 第45週採取分
 (10.21～10.27) (10.28～11.3) (11.4～11.10)

RSウイルス

1件 1件 2件

アデノウイルス

1件 0件 0件

【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎は例年11月上旬より患者が増加し始め、12月中にピークを迎えるという流行を繰り返している。県内では今シーズン初めての集団感染が疑われる事例の報告があり、11月11日に宮城県疾病・感染症対策室で流行の拡大防止について注意喚起を行った。また保健環境センターの検査でも患者からサボウイルスが検出されていることから注意を要する。

予防法などについては、疾病・感染症対策室のHPへ

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/miyagikansenjyouhouonrou.html>